

**学校給食全量有機米と有機野菜で地域づくり****活動の経緯**

いすみ市内の里山・里地・里海の自然環境の保全・再生を通じた地域活性化を推進し、持続可能な生物多様性に富んだ自然と共生する魅力的な地域づくりに資することを目的として、平成24年に自然と共生する里づくり連絡協議会を設立。

**活動の概要**

有機農業を通じた食・農・環境教育の授業を実施し、子どもの成長と農家の活力を刺激することによる地域活性化。



いすみ教育ファーム生きもの観察



いすみ市の田園風景

**活動の成果、主な実績等**

協議会会員と教職員とで連携を図り、テキスト「いすみの田んぼと里山と生物多様性」を作成。学校給食全量有機米を達成した「いすみっこ」の紹介や生産工程、田んぼの昔と今の変化などをクイズ形式にて編集。田んぼの多面性や生物多様性にもスポットをあて、子どもたちに自然・地域の環境保護に関心を持ってほしいとの思いでテキストを発行し、小学生を対象に「いすみ教育ファーム」を毎年開催。「生きもの観察会」や「田んぼ体験」などを開催することで、生物多様性や自然保護への関心を担っている。田んぼ体験では、田植えや稲刈りを生産者の指導のもと実施し、食品生産の感謝を体験教育として取り組んでいる。また、イオン(株)との連携により地域外の子どもにも体験イベントを定期的に開催。

環境保全型農業として取り組んでいる有機米づくりは、初年度は1団体22aから取組を始め、取組に賛同した生産者が増加すると共に作付面積を拡大し、全国初となる学校給食全量有機米を達成。「いすみっこ」という名称も決定し、地元はもとより、地域外にも認知され始める。有機米としての販路開拓も実施し、経済効果にも貢献。近年は有機野菜連絡部会も設立し、学校給食に取り入れるなど野菜生産者への経済効果にも貢献。有機のまちとして活性化を図る。